

【様式①】令和5年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立岐阜清流中学校

校長名 村田 伊津子

| 市の重点課題 | 学校の重点項目 | 自己評価 | 達成状況 | 学校関係者評価委員会から | 改善の方向 |
|---------------------------------|---|------|--|--|---|
| 希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成 | <ul style="list-style-type: none"> □教育課程の再編成 ・ぎふMIRAI'sを踏まえた「総合的な学習の時間」の内容再編 □授業改善 ・学習班を基本とした「聴き合い、学び合う」授業スタイルの確立 ・大学教授等、教育に携わる専門家の意見を踏まえた活動改善 | A | <ul style="list-style-type: none"> □教育課程の再編成 ・1年「地域」、2年「キャリア」、3年「平和」をテーマに岐阜市での校外活動3機会、講師9名を招いて活動に取り組んだ。 □授業改善 ・教師対象講話2回、全教員授業公開、研究者講師の公開研究会を2回行い、他県からの参加者とともに授業研究を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ぎふMIRAI's」は地域を題材に学ぶことで「ふるさと感」を持ち、やる気や主体性が育つことが期待される。3年間を通じて深い学びになるようにしてほしい。 ・「学びの共同体」は、生徒や保護者の一部が誇りと感じている。ただ、戸惑っている生徒もおり、取り組みせ方については改善の余地がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ぎふMIRAI's」は、本年度実施した内容を基盤として、3年間の学びにつながりがもてるよう、学習指導部会で各学年担当が検討、進捗を管理する。 ・「学びの共同体」の考え方について教職員での共通理解をさらに進め、公開研究会や公開授業後に、戸惑う生徒へのかかわり方について検討する。 |
| コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> □コミュニティ・スクール機能の充実 ・早田、則武校区の地域活動、人材、施設の把握と連携 ・ICTを効果的に利用した本校教育活動の周知と理解の促進 □小中一貫教育の推進 ・相互訪問での教職員理解促進及びボランティアでの児童生徒間交流 | A | <ul style="list-style-type: none"> □コミュニティ・スクール機能の充実 ・HPブログ更新数10(R4)→185(R6.1現在)、PTAline0(R4)→52(R6.1現在)と情報発信が大幅に増え、保護者評価数値も3.69→4.11(5点満点)と大きく伸びた。 ・近隣のボランティア活動に自発的に参加する生徒が増え、学校関係者評価委員の方からも満点と高い評価をいただいた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民運動会や地域の祭り等への地域ボランティアとしての参加がとても良く、地域との連携やつながりを深めている。 ・生徒の姿について様々な視点からの情報発信が増え、学校の様子がよく分かる。 ・生徒の姿を直接見る機会や防災訓練等での活動連携なども、無理のないように今後増やしていけるとよい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日課や行事予定にかかわる問い合わせが多い点も踏まえて、次年度も情報発信、公開を進める。 ・生徒の活躍の場のひとつとして地域ボランティアを位置付け、積極的に参加する。 ・全校行事(体育大会・合唱交流会・土曜授業等)について、保護者や地域の方へ生徒の姿を見ていただく機会を増やす。 |
| あたたかさど働きがいにあふれる学校づくり | <ul style="list-style-type: none"> □働き方改革の推進 ・勤務時間の正確な把握と月別時間外勤務時間からの業務の見直し ・部活動の保護者クラブ化に向けた動きの促進 ・学校課題に機能的に対応できるようにするための組織改編 | B | <ul style="list-style-type: none"> □働き方改革の推進 ・時間外勤務時間の本校平均値は、市内平均値をさらに5時間下回っている。 ・部活動の地域クラブ移行は、休日部活動の完全地域クラブ化に向けて、保護者とのすり合わせが進んでいる。 ・校内組織改編は、担当及び分担、配置等について検討を進めている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域クラブ立ち上げに丁寧に取り組んでいる。社会人指導者の発掘は大変だと思うが、しっかりと人選をしてほしい。 ・生徒にしわ寄せがないよう工夫するとともに、がんばりたいことを一緒に応援できるようにしてほしい。 ・地域クラブに移行するなら、活動日はまかせてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・校内組織の再編について、本年度(R5)3月までに検討、共通理解し、次年度4月より運用する。 ・令和7年度休日地域クラブ完全移行に向けて、指導者、保護者との意見調整を進め、より良い在り方について検討する。 |
| 災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保 | <ul style="list-style-type: none"> □非常変災に対する安全性確保 ・危機管理マニュアルの見直し ・気象警報対応の周知徹底 ・垂直避難訓練の計画、実施 □生徒指導事案への対応 ・トラブルへの組織的な対応 ・フリースペースの有効活用に向けた動きづくり | B | <ul style="list-style-type: none"> □非常変災に対する安全性確保 ・不審者・垂直避難について危機管理マニュアルを見直し、訓練を実施した。 ・生徒指導事案の対応法について職員研修実施、関係諸機関とも連携を進めた。 ・相談室をフリースペースとして整備・活用し、不登校生徒数が減少に転じたとともに、毎日の登欠席数も減少している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・安心して通える学校の実現のために、様々な対策がとられていることが分かった。 ・いじめについて強化されており、子どもが話してよかったと感じられるよう、引き続きお願いしたい。 ・フリースペースの環境が整えられていて、有効な活用がなされている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・非常変災による緊急下校の保護者通知方法について周知を進める。 ・いじめ対策監や生徒会が中心となり、他校とも意見交換を行いながら、生徒自身がいじめについて考える機会を増やす。 ・フリースペースの運用方法について、生徒、保護者、教職員の共通理解を進める。 |
| 教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用 | <ul style="list-style-type: none"> □教育環境の整備と効果的な活用 ・学校備品点検の徹底 ・学校施設の修繕(雨漏り、老朽化) ・体育館冷暖房施設の設置、運用 ・部活保護者クラブ化への施設改善 □学校財務環境の整備 ・ICT有効活用による印刷費削減 ・業者選定への保護者参加 | B | <ul style="list-style-type: none"> □教育環境の整備と効果的な活用 ・本年10～11月にかけて北舎、中舎の屋上防水工事完了、次年度秋の体育館冷暖房施設工事業者打合せ完了。アコーディオンカーテン設置等、施設改善随時実施。 ・備品総点検を行い、15件廃棄処分。 ・修学旅行等業者選定を行い、該当学年保護者3名が参加。 | <ul style="list-style-type: none"> ・透明性のある活用をしている。校舎の老朽化が進んでいるので、必要なことから財源に合わせた整備活用を進めてほしい。 ・学校正門前三差路は通学時間帯の交通量が多い。危険を避ける手立てがあるとよい。 ・修学旅行等、行事を経験した保護者にも、業者選定に参加してもらえるとよい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級増に伴い空き教室を有効活用する。 ・体育館冷暖房施設工事を行う。 ・正門前三差路を含む学校北側道路の安全確保のために、カラー舗装や東門の設置を進める。 ・デジタル化により紙予算を削減し、学校予算の有効活用を進める。 ・業者選定に行事経験保護者を入れる。 |

HPアドレス:

<https://gifu-city.schoolcms.net/seiryu-j/>